

企業名： イズミ

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

イズミは統合報告書において、「地域」、「お客さま」、「社員」、「テナント」という4つの夢を掲げている。「地域」とは、雇用創出や商店街との回遊性を構築することによって活気を生み、経済効果をもたらすことであり、「お客さま」は高品質な商品とサービスの提供を通して、より便利で快適な暮らしへと導くこと、「社員」は、地域への貢献を誇りや喜びとし、人間的成長につながるやりがいを生み出すこと、「テナント」は“ゆめタウン”を舞台に店舗づくりの成功事例をつくり、更なる発展に繋げることである。この4つの夢と経営理念「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客様の生活に貢献し続ける」をもとに、ひとつひとつの地域に「新しい価値」と「新たなまちづくり」を提供し、地域一番店を目指している。これらのことが統合報告書から読み取れるのでイズミが目指している将来の姿は理解できる。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

統合報告書に記載されていたグラフ(図1)からわかるように、イズミグループの主な事業である小売事業において、食品分野における当グループシェアは8.6%と第二位のシェアを誇り、主要エリア別シェアでは広島県、熊本県、福岡県の順に12.0%、16.8%、7.3%とおおきな割合を占めている。このことから、特に広島県や熊本県などの主要エリアにおいては、イズミグループの小売事業が地域の人々にとって非常に重要な存在になっていることが分かる。また、図2からわかる通り、イズミは事業を拡大し、ショッピングセンターなども手掛けておりおもに西日本において数多くの店舗を展開している。これれのことから、イズミの現在の競争優位性の高さが理解できる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

今までの小売事業などだけでなく、デジタル技術を取り入れたアプリの開設やオンラインショップの開設などが行われているとともに、2020年11月に発表した『you me MIRAI 宣言』を柱に持続可能な経営および成長戦略の実現を目指していることが統合報告書から読み取れる。2021年には、時代の変化や社会からのニーズに対応するため、代表取締役社長を委員長とした全社横断的な組織であるサステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティ基本方針を策定し、事業活動を通じて社会への新しい価値を創造し、社会や地域、当社相互の持続可能性を追求するサステナビリティ経営に取り組んでいる。『you me MIRAI 宣言』とはイズミグループのSDGs推進にむけた取り組みで

あり、これを中心として持続性のある企業経営を目指していることが分かる。よって競争優位性に持続性があることが統合報告書から理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

イズミで自分の人的資本の価値向上を達成できると考える。イズミは、企業価値の源泉は「人」にあると考えていて、人材教育、また社員の成長が可能になる環境づくりに力を入れていることが、統合報告書から伺えるからである。少子高齢化が進む中で最も重要な資源は人であり、企業価値をたかめるには人材一人ひとりの実力アップが必要とイズミは考えており、その実現に向けて主に二つの取り組みを行っている。一つ目の取り組みは「イズミ大学」の設立である。このイズミ大学は2021年7月に開校され、将来の経営幹部を社内から育成するため、課長・店長、部長・支配人、執行役員の三つのコースで選抜されたメンバーが二年間のプログラムを履修し、リーダーシップや問題解決力、仮説構築力などを磨く、という趣旨のプログラムである。二つ目は「ゆめCanプロジェクト」(女性活躍推進プロジェクト)の立ち上げである。2014年の設立以来、「2023年に女性管理職比率を20%以上にする」という目標の実現に取り組んでいる。2021年には「女性管理職ミーティング」が初開催された。また、イズミの経営理念として適材適所の人材派遣というものがある。このようにイズミは人材育成とそのための環境づくりに気を使っているため、自身の能力を自分に合った領域で最大限に生かし、更なる能力向上が見込まれるのではないかと考える。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

さまざまな色や図、グラフ、表、写真、レイアウトなどが使用されていて読みやすいように感じた。『4つの夢』や『you me MIRAI 宣言』など、イズミグループ独自の造語に対する定義が不十分で曖昧になっていたように感じたのでわかりやすく表示したほうが良いように感じた。また統合報告書15ページの分野ごとの経営理念など、重要だと思われるものが小さく示されている点が多くあったように感じられたので改善の余地があると思われる。

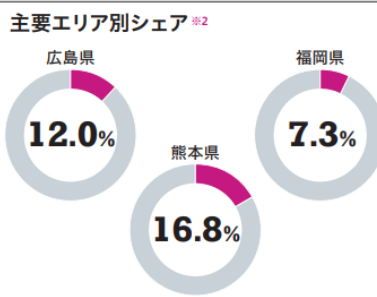
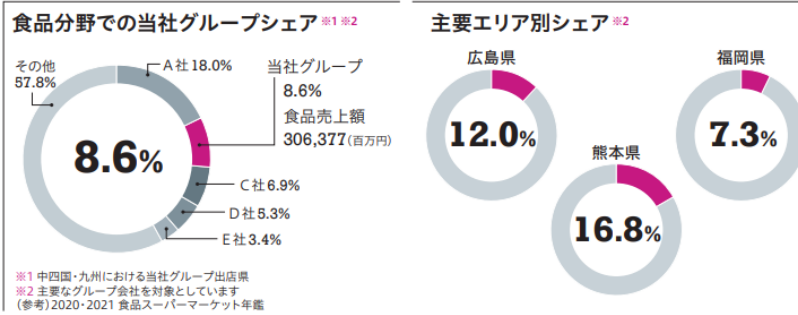


図 1

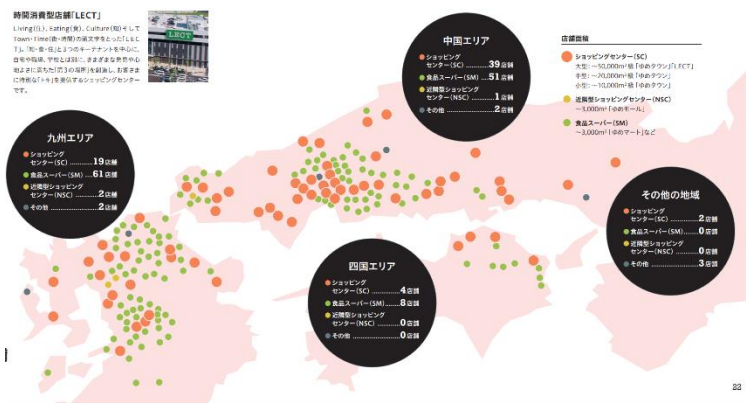


図 2